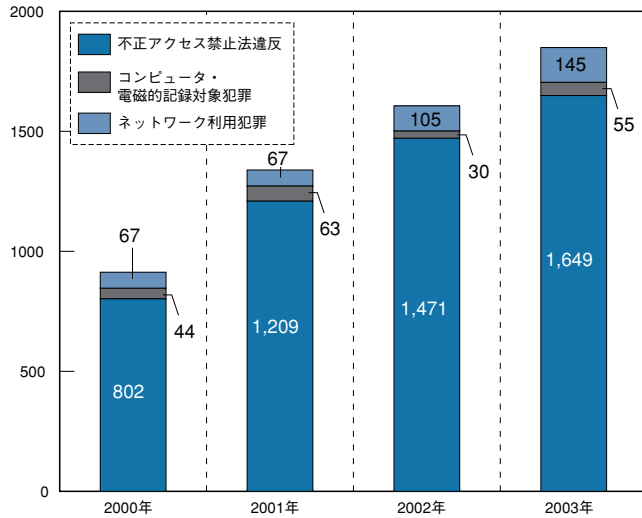


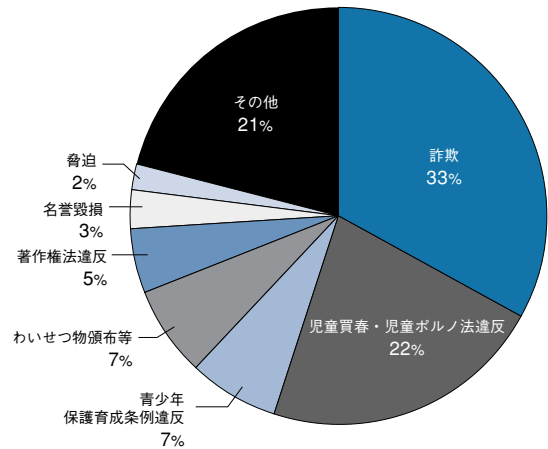
ハイテク犯罪

オークション詐欺や児童買春などネット利用犯罪が約9割

資料7-3-1 ハイテク犯罪の検挙状況の推移



ネットワーク利用犯罪の内訳

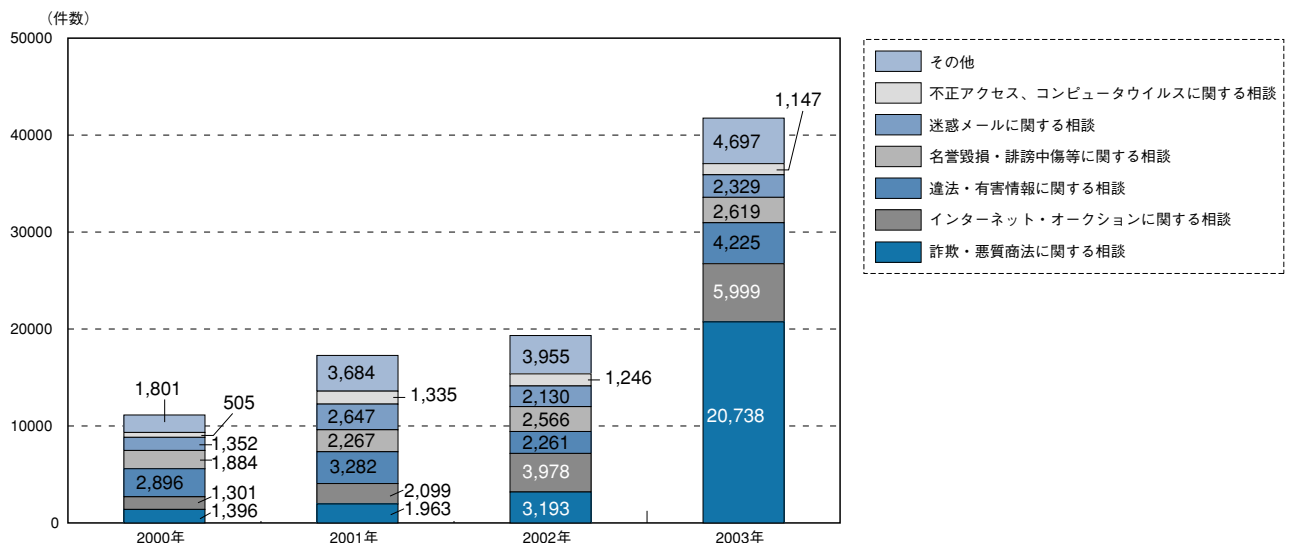


出所 警察庁「平成15年中のハイテク犯罪の検挙及び相談受理状況等について」2004年2月

2003年中のハイテク犯罪の検挙件数は1,849件で、前年より243件（15%）増加している。最多はネットワーク利用犯罪1,649件（89%）で、オークションなどを利用した詐欺（521件）、出会い系サイトを利用した児童買春・児童ポルノ法違反（371件）、青少年保護育成条例違反（120件）、わいせつ物頒布等（113件）、著作権法違反（87件）など。掲示板を利用した名誉毀損（46件）や脅迫（38件）も検挙されている。

「架空請求メール」関連の相談が殺到

資料7-3-2 ハイテク犯罪の相談受理とその内訳



出所 警察庁「平成15年中のハイテク犯罪の検挙及び相談受理状況等について」2004年2月

相談件数が最も多かったのは詐欺・悪質商法に関するもので、20,738件あり、前年の6.5倍にのぼる。このうち17,838件が架空の未払い料金を無差別に請求する「架空請求メール」関連であった。ネット・オークション関連は5,999件、違法・有害情報関連は4,225件の相談があり、それぞれ前年比1.5倍、1.8倍である。



## [インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ [iwp-info@impress.co.jp](mailto:iwp-info@impress.co.jp)